|  |  |
| --- | --- |
| **選定実績を踏まえたプログラムの構築・実施【５ページ以内】**  **【過去５年間に大学の世界展開力強化事業に選定実績のある大学限定】** | |
| ○過去５年間のうち申請大学が直近で選定された３プログラムまでの、ⅰ）学内外への横展開・波及効果の実績と、ⅱ）得られた課題が、それぞれ具体的に示されているか。その上で、ⅰ）及びⅱ）を踏まえた、より高度な、もしくは新規性のある取組となっているか。（★） | |
| 【実績・準備状況】 | |
|  | |
| 【得られた課題】 | |
|  | |
| 【計画内容】 | |
|  | |
| **選定実績を踏まえたプログラムの構築・実施【５ページ以内】**  **【過去５年間に大学の世界展開力強化事業に選定実績のない大学限定】** | |
| ○以下ⅰ）～ⅲ）のいずれか１つに該当し、自大学の強み・特色を活かしたプログラム計画となっているか。（★）  ⅰ）他大学が実施する既存の大学の世界展開力強化事業のプログラムを「モデルプログラム」とし、当該モデルプログラムを参照してプログラムを構築・実施する計画（計画調書には、当該モデルプログラムを参照するに至った理由が明確に示されているか。）。その際、モデルプログラムを実施する大学（以下、モデル大学という）を国内連携大学とする、もしくはモデル大学の担当教職員をクロスアポイントメントやアドバイザーとして雇用・委嘱するなど、モデルとして機能し得る取組。  ⅱ）対象国・地域における既存の教育研究プラットフォームや、自大学の強み・特色ある研究活動・実績を通じて構築されている既存のネットワークなどを活かしてプログラムを構築・実施する計画（計画調書には、活用したプラットフォームやネットワークの具体的な内容・実績についても明記されているか。）。  ⅲ）ⅰ）及びⅱ）に該当しないような特に新規性の高いプログラムを構築・実施する計画。（大学の世界展開力強化事業以外の国内外の質保証を伴った取組を参照している場合、その内容を踏まえた新規性の高いものであることが具体的に示されている計画。） | |
| 【計画内容】 | ⅰ）～ⅲ）で選択した項目： |
|  | |

|  |
| --- |
| **留学モビリティのための基礎的環境整備【①～③合わせて３ページ以内】** |
| ① 日本人学生の派遣のための環境整備  ○プログラムの実施に伴う日本人学生の派遣の拡大に備え、留学支援員の配置、留学先や奨学金情報の提供、言語・生活サポート等、大学における支援体制の整備が図られているか。  ○渡航前の日本人学生に対して、危機管理研修を義務付ける等、学生自身の危機管理意識・能力の向上のための教育を行っているか。  ○日本人学生に対して、派遣前から留学中、帰国後にわたり、履修指導、交流に関する情報の提供、相談サービスの実施、就職支援等のサポートが推進されているか。  ○単位認定可能な科目、履修体系・順序、単位の相互認定の手続、アカデミックカレンダーの相違・時差等について配慮され、学生の履修に支障がないよう十分な情報提供を行う体制がとられているか。  ○国内外でのインターンシップ等による就業体験の機会確保や、日本人学生の現地就職説明会参加、産業界からの講師等の派遣等、産業界や自治体との連携が十分に図られているか。 |
| 【実績・準備状況】 |
|  |
| 【計画内容】 |
|  |
| ② 外国人学生の受入のための環境整備  ○プログラムの実施に伴う外国人学生の受入の拡大に備え、支援員の配置、奨学金情報の提供、言語・生活サポート等、大学における支援体制の整備が図られているか。  ○外国人学生の在籍管理のための適切な体制が整備されているか。  ○受け入れた外国人学生に対し、履修指導、教育支援員・ＴＡ等の配置、学内外での諸手続き支援、カウンセリング、宿舎、学内各種資料の翻訳、就職支援等のサポート体制の充実が図られているか。  ○単位認定可能な科目、履修体系・順序、単位の相互認定の手続、アカデミックカレンダーの相違・時差等について、学生の履修に支障がないよう十分な情報提供を行う体制がとられているか。  ○国内外でのインターンシップ等による就業体験の機会確保や、外国人学生の国内就職説明会参加、産業界からの講師等の派遣等、産業界や自治体との連携が十分に図られているか。 |
| 【実績・準備状況】 |
|  |
| 【計画内容】 |
|  |
| ③　関係大学間の連絡体制の整備  ○学生へのサポートが円滑及び適切になされるよう、関係大学間に十分な連絡・情報共有体制が整備されているか。  ○学生の安全管理に関する体制や、緊急時、災害時に学生をサポートするリスク管理への配慮が十分になされているか。  ○大学間交流の発展に向け、参加学生の同窓会ネットワークの立ち上げ等、卒業・修了後の継続的サポート体制の構築等が図られているか。 |
| 【実績・準備状況】 |
|  |
| 【計画内容】 |
|  |

|  |
| --- |
| **加点事項に関する取組** |
| ①　以下のような取組について記載してください。【２ページ以内】  ○連携先であるインドもしくはアフリカ諸国との双方向の実渡航のためのカリキュラムや学事暦の柔軟化についての具体的な方策目指す計画となっているか。  ○自走化後を含むプログラムの充実につなげることを目的として、高度な国際業務に携わる教職員を養成するための取組（我が国の国際化を先導する大学や国際機関等との教職員交流や海外研修、単年度/一回限りでないFD/SD、キャリアパスの明示など）を実施する計画となっているか。 |
| 【実績・準備状況】 |
|  |
| 【計画内容】 |
|  |

|  |
| --- |
| ②　任意指標【２ページ以内】  ※計画に基づき必要な任意指標を適宜設定してください。その際、プログラムの選定校と非選定校との比較が可能な指標を含められないか検討の上、可能な限り設定してください。 |
| 【現状分析及び目標設定】 |
| （設定指標）   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 | | （指標１） |  |  |  |  |  | | （指標２） |  |  |  |  |  | | （指標３） |  |  |  |  |  | | （指標４） |  |  |  |  |  | | （指標５） |  |  |  |  |  | |
| 【計画内容】 |
|  |